

CHAPTER 1

Cisco TelePresence System 500-37 の会議室推奨事項

この章では、Cisco TelePresence System 500-37 (CTS-500-37) の一般的な会議室およびシステム推奨事項と要件について説明します。この章は、次の項で構成されています。

- 「CTS-500-37 の場所の選択」 (P.1-1)
- 「所要電力」 (P.1-3)
- 「HVAC の考慮事項」 (P.1-3)
- 「表記法と用語」 (P.1-4)
- 「工具と機器のリスト」 (P.1-4)

CTS-500-37 の場所の選択

CTS-500-37 の物理的な場所を選択する際は、次の事項に留意します。

- 画面から 1.2 ～ 1.8 m (4 ～ 6 フィート) 離れた場所にユーザが着席するように CTS-500-37 の場所を選択します。
- 選択した空間に CTS-500-37 が収まることを確認します。CTS-500-37 の高さや幅の寸法を確認するには、付録 B 「Cisco TelePresence System 500-37 の高さ、幅、および重量の仕様」を参照します。
- Cisco TelePresence システムが正常に機能するには、照明条件を最適にすることが重要です。外光は、むら、グレア、ホットスポット、色あせ、反射などの視覚上の問題があるため推奨されません。このため、窓がほとんどないかまったくない会議室を選択する必要があります。

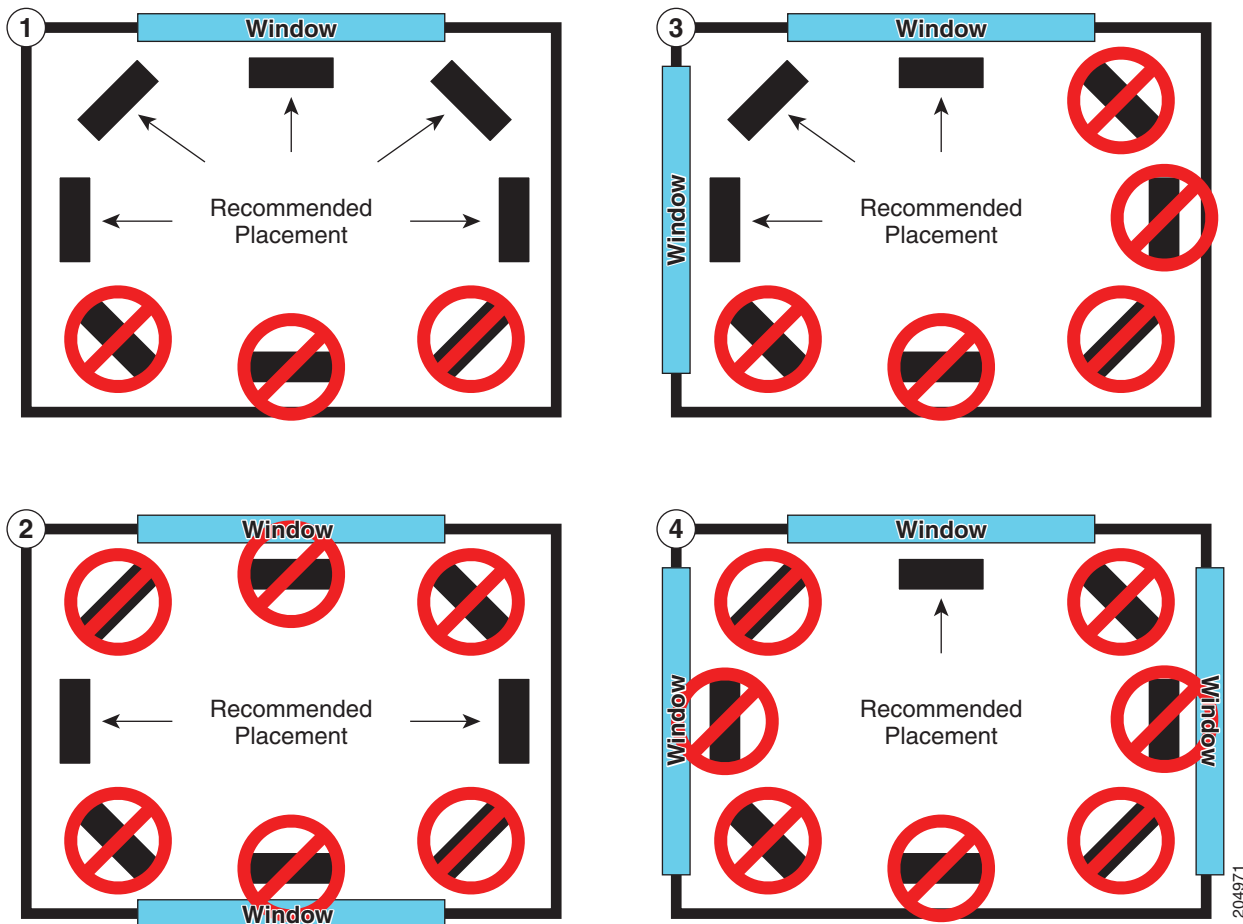
設置場所に窓がある場合は、ブラインドまたはカーテンで外光をすべて遮断するように試みます。外からのすべての光源を遮断できない場合は、会議室の窓の場所に応じて CTS-500-37 を配置します。コール中に光を 100 % 遮断できる場合を除いては、システムの使用時にユーザの背後に窓が存在するようにシステムを配置しないでください。

次の表を使用して、物理的な場所における CTS-500-37 の配置を決定します。さまざまな会議室の設定において推奨される CTS-500-37 システムの配置については、表 1-1 および図 1-1 を参照してください。

表 1-1 窓のある場所における CTS-500-37 配置のガイドライン

物理的な会議室設定	推奨される設置場所
窓がない、または外光がすべて覆われるか遮断されている	会議室の任意の場所にシステムを配置します。
窓が 1 つある	ユーザの背後に窓が存在しないようにシステムを配置します。
窓が 2 つ向かい合っている	ユーザの背後に窓が存在しないようにシステムを配置します。
窓が 2 つ隣接している (オフィスが角部屋の設定)	ユーザの背後に窓が存在しないようにシステムを配置します。
窓が 3 面にある	推奨される配置は 1 つだけです。
窓が 4 面にある	この設定の使用はシスコでは推奨しません。この設定を使用する場合は、コール中に窓の 1 つを完全に覆って窓が 3 つの会議室にします。

図 1-1 窓のある会議室における推奨される CTS-500-37 配置



- 設置後に、ユーザの目の高さが画面の合計垂直高さの 70% に設定されるようにシステムの垂直高さを調整します。この目の高さにより、適切な Cisco TelePresence エクスペリエンスを確実なものにします。

システムの設置前に目の高さを確認することは、特に壁面取り付け式のシステムで重要です。これは、壁面取り付け具の設置後にディスプレイの垂直高さを調節できないためです。壁面取り付け具の高さを決定するには、第 3 章「壁面取り付け式 CTS-500-37 の組み立て」の図 3-1 および図 3-2 を参照してください。

所要電力

CTS-500-37 システムには、2 つの AC プラグが必要です。1 つがコーデック用、もう 1 つが LCD 用です。1 つの 10 A 回路で差込口が 2 つあれば十分です。ディスプレイには 0.24 kW (2.00 A @ 120 V/1.00 A @ 240 V) が必要です。コーデックにはさらに 0.12 kW (1.00 A @ 120 V/0.50 A @ 240 V) が必要です。

配電ユニット (PDU) は、CTS-500-37 システムに付属していません。また、PDU をシステムの延長コードとして使用しないでください。コードを別の壁面コンセントに直接差し込むことをシスコでは推奨していません。

コーデックをキャビネット内に置いたままにしないことを強く推奨します。コーデックをキャビネット内に置いたままにする場合は、キャビネットによって適切な通気と冷却が提供される必要があります (HVAC の推奨事項の項を参照)。

次のオプション アイテムのそれぞれに対して 1 つの電源コンセントが追加で必要になります。

- 外部ディスプレイ
- ドキュメント カメラ
- プレゼンテーション コーデック

HVAC の考慮事項

CTS-500-37 システムでは、プライベート オフィス空間にある既存の標準的冷却装置の上に追加で冷却を必要としません。

1 人がラップトップを使用するエンドポイントおよび照明において予測される一般的 * 合計熱放散は約 1,700 BTU です。TelePresence コーデック自体は 500 BTU を生成する可能性があります。ユーザがコーデックをラックまたはキャビネットに取り付けるか収容する場合は、これを考慮する必要があります。このラックでは、TelePresence コーデックに対して適切な通気と冷却を提供する必要があります。

* 一般的とは、シスコの推奨事項に従った標準使用状態と導入を想定しています。

表記法と用語

- このマニュアルで方向を示す左と右は、会議参加者から見て左と会議参加者から見て右と同義です。これらの方向は、ディスプレイに正対して組み立てを行っている場合を指します。
- コーデックへのケーブル接続には、色分け記号方式を使用したラベルが付けられます。
 - 緑地に 1 つの点のラベルは、中央の構成要素を示します。



(注) 中央の構成要素は、CTS-500-37 の設置には使用しません。

- 赤地に 3 つの点のラベルは、右の構成要素を示します。
- 白地に 2 つの点のラベルは、左の構成要素を示します。

図 1-2 ケーブル接続のラベル表示方式



工具と機器のリスト

すべてのタイプの CTS-500-37 設置で #2 プラス ドライバが必要です。

台座スタンド取り付け式 CTS-500-37 では、次の工具が必要です。

- 3/16 インチ アレン ドライバ（レンチとビットは台座スタンドキットに付属）
- 3 mm アレン レンチ（台座スタンドキットに付属）

壁面取り付け式の設置、または壁面に取り付ける台座スタンド取り付け式の設置では、次の工具が必要です。

- 壁面のスタッドの場所を定めるスタッド ファインダまたはそれに類するもの
- 次のドリル ビットのドリル
 - 1/2 インチ (13 mm) ビット：設置場所に金属製スタッドがある場合、このビットで金属に穴をあける必要があります。
 - 1/8 インチ (3 mm) ビット：設置場所に木製スタッドがある場合にのみこのビットが必要です。

CTS-500-37 システムの初期設定を行うには、次の工具と機器が必要です。

- 小型カメラ ターゲット
- 大型カメラ ターゲット
- 大型カメラ ターゲットのイーゼル
- 厚紙のルーラ



(注) 厚紙のルーラの代わりに、巻き尺などの測定道具を使用してもかまいません。

初期設定に必要な工具はカートン 7 にあります (CTS-CAM-TOOL-G2)。